

### 一 福島 の 環境回復と創造に向けて福島県と国の研究機関が連携一

福島県環境創造センターは、前例のない原子力災害からの環境の回復・創造に向けた取組を行う拠点施設として福島県が設置した施設で、平成28年7月に全ての施設の活動がスタートし、まもなく開所1年半を迎えようとしています。

三春町施設は本館・研究棟・交流棟の三棟で構成され、本館には県が、研究棟には国の研究機関である日本原子力研究開発機構(JAEA)、国立環境研究所(NIES)が入居しています。

地方自治体と国の専門機関が一体となった初めての取組で、三機関は「放射線計測」「除染・廃棄物」「環境動態」「環境創造」の4つのグループに分かれて、福島県民の皆様がより安心して快適に暮らせる“ふくしま”にするため、連携協力して調査研究などの業務を行っています。

また、交流棟「コミュタン福島」は放射線や環境問題を身近な視点から理解し、環境の回復と創造への意識を深めていただくための展示施設です。

県内4つの関連施設(「環境放射線センター」「福島支所」「猪苗代水環境センター」「野生生物共生センター」)と合わせて福島県環境創造センターとして、福島県の環境回復と創造に向けた活動に取り組んでいきます。



本館 福島県の職員が働いています。

コミュタン福島 福島県環境創造センター 交流棟

研究棟 JAEAとNIESの職員が働いています。

### 環境創造センターの4つの業務

環境創造センターでは、福島県の環境回復・創造に向け、①モニタリング ②調査・研究、③情報収集・発信、④教育・研修・交流の4つの取組を総合的に行っています。

#### モニタリング

- 福島県内各地の空間放射線量や環境試料中の放射能濃度測定
- 大気汚染・水質汚濁・騒音振動・化学物質などの調査分析
- 緊急時のモニタリングなど



放射能濃度の測定

#### 調査・研究

- 放射線計測、除染・廃棄物、環境動態、環境創造の4つの部門の研究

(例) 放射性物質測定技術や分析手法開発、放射性物質を含む廃棄物の管理手法開発など



線量測定技術の開発

#### 情報収集・発信

- モニタリング結果や調査・研究の成果を発信
- 各種学会や国際会議への参加を通し積極的な情報収集・発信を行います。



施設見学ツアー

#### 教育・研修・交流

- コミュタン福島での展示や体験研修で福島の環境の現状や放射線に関する正確な情報を伝えます。
- 環境保全活動の推進を図るため、NPOや大学、他の研究機関とのネットワークの構築などを行います。



コミュタン福島での放射線学習

### 教育・研修・交流の場 「コミュタン福島」!

- 壁面に突き出した全球型シアターが目印の交流棟の愛称は「コミュタン福島」です。公募により、交流を意味する「コミュニケーション」と福島県のキャラクター「キビタン」を合わせて名付けられました。その名のとおり、来館される多くの皆様が福島の現状を知り、福島の未来を考え、交流していける場を目指しています。



手前がふくしまの歩みクロック。後ろは全球型シアター

- 福島県の環境や放射線の基礎知識を学べる体験型の展示や全球型シアター、体験学習等により、身近な視点から放射線や再生可能エネルギーなどへの理解を深めることができます。



再生可能エネルギーや循環型社会について考える展示

### 環境創造センター県内4つの関連施設

- 環境放射線センター(南相馬市) 電話0244-32-0800

原子力発電所周辺のモニタリングや空間放射線の常時監視を行います。



- 福島支所(福島市) 電話024-544-2030

環境試料中に微量に含まれるプルトニウムなどのアルファ線放出核種、ストロンチウムなどのベータ線放出核種の分析等を行います。



- 猪苗代水環境センター(猪苗代町) 電話0242-85-7573

- 猪苗代湖・裏磐梯湖沼群に関する研究や水環境に関するボランティア活動の拠点となります。
- 猪苗代湖に関する調査の資料やパネルの展示を行っており、見学することができます。休館:月曜日(祝日の場合翌平日)、年末年始



- 野生生物共生センター(大玉村) 電話0243-24-6631

- 野生生物の保護・救護や野生生物のモニタリングを行います。
- 野生生物のはく製や調査に関する資料などの展示、復帰訓練中の動物の観察コーナーがあり、自由に見学することができます。休館:月曜日(祝日の場合翌平日)、年末年始



## 事業紹介

環境創造センターでは、様々な事業を行っています。今回は、8月に行われたサイエンスサポートプログラム事業と10月に行われたIAEA(国際原子力機関)協力プロジェクトについて紹介します。

### サイエンスサポートプログラム事業 安達高校で霧箱作製ワークショップ開催!

#### ●サイエンスサポートプログラム事業とは

福島県内の高校の理科系クラブの活動や理科教育に対して技術的・物的サポートを行い、高校生が科学に対して興味や理解を深める機会を設けるとともに、科学的技術力・思考力・判断力を培い、将来の環境創造に携わる人材の育成を目的としています。

#### ●安達高校生が霧箱作製に挑戦しました!

平成29年8月26日(土)、安達高等学校自然科学部13名が、国内唯一の霧箱専門メーカーである「有限会社ラド」の戸田一郎取締役、戸田武宏研究員の指導で霧箱作製に挑戦しました。

放射線の基礎的な講義のあと、生徒の皆さんが持ち寄った材料で試行錯誤しながらの製作でしたが、全員、放射線の飛跡を観察することができました。



霧箱のしくみを真剣に聞く生徒の皆さん



持ち寄った材料で霧箱作製

### IAEA協力プロジェクト 本部訪問・現地視察を行いました!

平成24年12月に、福島県は原子力に関する高度な知見を有するIAEAとの間で放射線モニタリング及び除染の分野における実施取決めに署名しました。

河川・湖沼等の除染技術の検討や野生生物における放射性核種の動態調査などの協力プロジェクトを進めています。

今年はプロジェクトの一環で、10月16日～10月19日の日程で職員7名がオーストリアとチェコを訪問しました。オーストリアではIAEA本部を訪問し、これまでの研究成果等について意見交換・打合せを行うとともに、継続的な協力に関する議論を行いました。

また、チェコでは放射能汚染からの環境回復事例や放射性物質に汚染された廃棄物のバイオガス転化処理事業についての現地視察を行い、研究に資する知見を広めました。



IAEA本部訪問



バイオガスプラント視察

## 行ってみよう!

### 交流棟 「コミュタン福島」



福島第一原子力発電所の模型

霧箱で放射線の飛跡を観察

#### ●コミュタン福島展示室

コミュタン福島展示室は5つのエリアで構成され、各エリアを体験することにより総合的に福島の現状を知り、放射線や環境問題を理解し、未来について考える展示となっています。

「1 ふくしまの3.11から」は原子力発電所事故からの福島の歩みを伝える導入エリアです。

「2 ふくしまの環境のいま」では環境回復と創造へ歩を進めるふくしまの今のすがたを知り、「3 放射線ラボ」では放射線について、体験型の展示で学びます。

「4 環境創造ラボ」で循環型社会に向けて「自分にできること。みんなのできること。」を発見し、「5 環境創造シアター」は大迫力の全球型シアターで「放射線の性質」や「福島のすばらしい自然と文化」を体験します。

#### ●体験学習・イベント等について

コミュタン福島では、「放射線」、「自然環境」、「再生可能エネルギー」についての体験学習を実施しています。(学校等団体限定・要予約)

また、館内は展示エリアのほか、ホール(200名収容)や会議室(100名収容)も備え、貸出をしています。(要予約)

土日祝日などにはサイエンス体験や工作、企画展や数々のイベントを実施しています。11月3日には、サイエンスショーや工作、実験などを行うコミュタンフェスティバルを開催し、多くの方に見学いただきました。



理科実験(コミュタンラボ)



ECO実験ショー



◀コミュタン

## 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」 入場無料

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

ホームページ <http://www.com-fukushima.jp/>

○開館時間 9:00～17:00

○休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)12月29日～1月3日

○売店、キッズスペース、授乳室、和室(飲食可)もあります。



車をご利用の場合 磐越自動車道船引三春ICより約5分

電車をご利用の場合 JR磐越東線三春駅より車で約12分

三春町町営バスをご利用の場合 三春駅～環境創造センター(コミュタン福島)へ  
年末年始(12月31日～1月3日)を除き毎日(1日4便)運行  
コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料

